

※※ **アルキルジアミノエチルグリシン消毒用液10W/W%「ファイザー」**  
**ALKYLDIAMINOETHYLGLYCINE Disinfectant Solution 10W/w% [Pfizer]**  
10W/w%アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩

貯法：気密容器、室温保存  
使用期限：最終年月を外箱等に記載  
使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること  
(取扱い上の注意参照)

※※ 承認番号	22700AMX00226
※※ 薬価収載	2015年6月
※※ 販売開始	1991年5月

※※【組成・性状】

1. 組成

1g中：

成分	販売名
有効成分	アルキルジアミノエチルグリシン消毒用液10W/w%「ファイザー」 アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩液 250mg (アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩として 100mg)
添加物	pH調整剤

2. 性状

本剤は微黄色～淡黄色の粘稠性のある液で、わずかに特異なおいがある。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、医療機器の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒

【用法・用量】

アルキルジアミノエチルグリシンとして下記の濃度になるように水で希釈して、次のように使用する。

1. 手指・皮膚の消毒

0.05～0.2%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。

2. 手術部位（手術野）の皮膚の消毒

0.1%溶液で約5分間洗った後、0.2%溶液を塗布する。

3. 手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒

0.01～0.05%溶液を用いる。

4. 医療機器の消毒

0.05～0.2%溶液に10～15分間浸漬する。

5. 手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒

0.05～0.2%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。

なお、結核領域において、上記4、5に用いる場合は0.2～0.5%溶液を用いる。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 <sup>※</sup>	発疹、そう痒感等

注：発現した場合には使用を中止すること。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。

3. 適用上の注意

(1) 人体

1) 使用時

- ① 外用にのみ使用すること。
- ② 原液又は濃厚液が眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- ③ 散布消毒の場合はマスクを着用するなど注意すること。
- ④ 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。
- ⑤ 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- ⑥ 粘膜、創傷面又は炎症部位に長時間又は広範囲に使用しないこと。

2) 調製時

深い創傷に使用する場合は希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

(2) その他

使用時

石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん成分を洗い落としてから使用すること。

(3) 緊急処置

1) 眼に入った場合

洗浄の際、眼球、瞼のすみずみまで水がよく行きわたるように、清浄な水で15分以上眼を洗浄した後、直ちに適切な処置を行うこと。

2) 飲み込んだ場合

水でよく口を洗い、水又は牛乳を飲ませ（無理に吐き出さない）、直ちに適切な処置を行うこと。

【薬効薬理】

1. アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩は両性界面活性剤であり、殺菌力（陽イオンとして）とともに洗浄力（陰イオンとして）を併せもつ。
2. 本剤は、使用濃度において緑膿菌、結核菌、一般細菌、真菌等に有効であるが、肝炎ウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩  
化学名：Alkyldiaminoethylglycine hydrochloride  
示性式： $[RNHCH_2CH_2NHCH_2CH_2NHCH_2COOH] \cdot HCl$   
(Rは主としてC<sub>12</sub>H<sub>25</sub>～C<sub>14</sub>H<sub>29</sub>である。)

※※【取扱い上の注意】

1. 次の医薬品が混入すると、沈殿が生じるので注意すること。  
ヨードチンキ、マーキュロクロム、硝酸銀、フェノール、過酸化水素、過マンガン酸カリウム等
2. 本剤は多少色調の濃淡に差があることがあり、また、寒冷時にわずかに混濁を生じることがあるが、殺菌作用に影響はない。混濁は加温することにより溶解する。

### 3. 安定性試験<sup>1)</sup>

加速試験（40℃、相対湿度75%、6ヶ月）の結果、アルキルジアミノエチルグリシン消毒用液10%w/w「ファイザー」は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

### ※※【包装】

アルキルジアミノエチルグリシン消毒用液10%w/w「ファイザー」：  
500mL、3L、10L

### ※※【主要文献】

1) 社内資料：安定性試験(加速試験)(アルキルジアミノエチルグリシン消毒用液10%w/w「ファイザー」) [L20130716033]

### ※【文献請求先】

ファイザー株式会社 製品情報センター  
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7  
学術情報ダイヤル 0120-664-467  
FAX 03-3379-3053

### 【製造販売元】

**マイラン製薬株式会社**  
大阪市中央区本町2丁目6番8号

### ※【販売】

**ファイザー株式会社**  
東京都渋谷区代々木3-22-7

